

資料編

(1) 第三次伊賀市子ども読書活動推進計画の策定経過

実施日	会議名、内容等
2024（令和6） 9月30日	令和6年度第1回伊賀市子ども読書活動推進庁内連絡会議 ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画の策定に向けて ・子ども読書活動推進に係る各課の取組について
10月23日	令和6年度第1回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会 ・伊賀市子ども健全育成施策検討委員会への諮問 ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画の策定に向けて
11月11日 ～11月29日	伊賀市子どもの読書に関するアンケート調査の実施
2025（令和7） 1月29日	令和6年度第2回伊賀市子ども読書活動推進庁内連絡会議 ・「子どもの読書に関するアンケート」結果と分析について ・子ども読書活動推進に係る各課の取組（令和6年度）について
2月21日	令和6年度第2回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会 ・「子どもの読書に関するアンケート」結果と分析について ・「計画の指標」の追加について ・子ども読書活動推進に係る各課の取組（令和6年度）について
4月25日	令和7年度第1回伊賀市子ども読書活動推進庁内連絡会議 ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）の策定について ・進行管理シート（素案）について ・策定スケジュールについて
5月21日	令和7年度第1回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会 ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）の策定について ・策定スケジュールについて
9月1日 ～9月30日	第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）に対するパブリックコメント実施
10月21日	令和7年度第2回伊賀市子ども読書活動推進庁内連絡会議 ・パブリックコメントへの対応について ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（最終案）について ・進行管理シート（案）について
11月4日	令和7年度第2回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会 ・パブリックコメントへの対応について ・第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（最終案）について ・進行管理シート（案）について

(2) 伊賀市子ども健全育成施策検討委員会委員名簿

2024（令和6）年度

役職	所属	氏名
会長	学識経験者	岡野 裕行
副会長	伊賀市図書館協議会	柴田 正美
	読み聞かせ活動団体	岡山恵美子
	伊賀市社会教育委員会	中嶋 恭子
	伊賀市青少年育成市民会議	増永 秀美
	伊賀市PTA連合会	澤 和枝
	市民公募	家城 円
	市民公募	竹島みち子
	伊賀市公立幼稚園	松永 愛
	伊賀市公立保育所	松村 幸世
	伊賀市公立小学校	茶本 康一
	伊賀市公立中学校	吉川 英毅
	伊賀市内公立高等学校図書館司書	瀧本志津代
	伊賀市社会事業協会	松田 昌子
	民生委員児童委員	松尾 明彦

2025（令和7）年度

役職	所属	氏名
会長	学識経験者	岡野 裕行
副会長	伊賀市図書館協議会	柴田 正美
	読み聞かせ活動団体	岡山恵美子
	伊賀市社会教育委員会	中嶋 恭子
	伊賀市青少年育成市民会議	増永 秀美
	伊賀市PTA連合会	澤 和枝
	市民公募	家城 円
	市民公募	竹島みち子
	伊賀市公立幼稚園	松永 愛
	伊賀市公立保育所	松村 幸世
	伊賀市公立小学校	稲森 文一
	伊賀市公立中学校	澤 健史
	伊賀市内公立高等学校図書館司書	瀧本志津代
	伊賀市社会事業協会	松田 昌子
	民生委員児童委員	松尾 明彦

(3) 伊賀市子どもの読書活動に関するアンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画」を策定するにあたり、子どもを取り巻く読書環境や、子どもの読書に対する意識や現状等を把握するために実施しました。

2 調査対象者

<児童・生徒>

- ・市内小学校2年生
- ・市内小学校5年生
- ・市内中学校2年生
- ・市内の県立高校2年生

<保護者>

- ・市内保育所(園)・幼稚園・認定こども園の4歳児の保護者
- ・市内小学校2年生の保護者
- ・市内小学校5年生の保護者
- ・市内中学校2年生の保護者
- ・市内の県立高校2年生の保護者

3 調査方法

オンライン回答フォームの活用によるアンケート調査を実施しました。

4 実施期間

2024(令和6)年11月11日(月)~11月29日(金)

5 回収結果

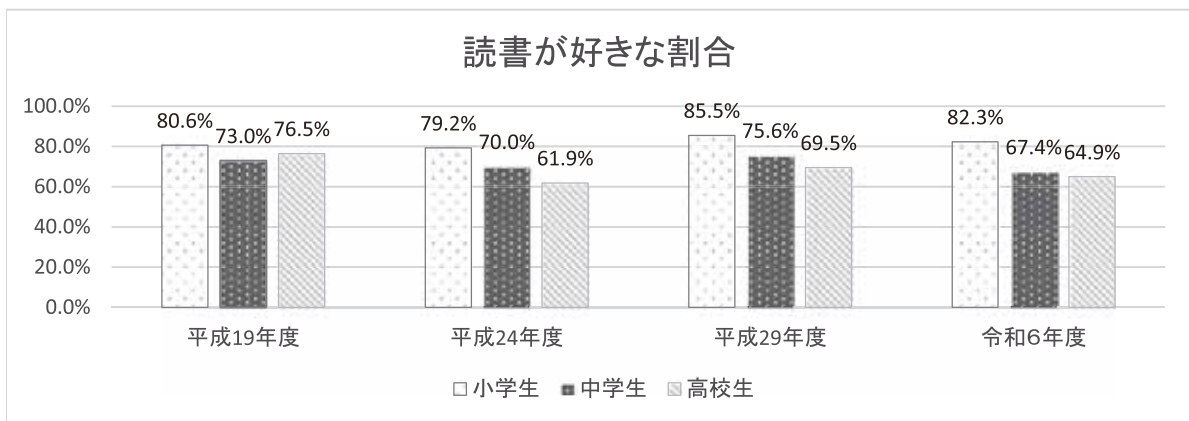
調査対象者	調査対象数	回収数	回収率
小学校2年生	576人	543人	94.3%
小学校5年生	658人	607人	92.2%
中学校2年生	668人	550人	82.3%
高校2年生	557人	205人	36.8%
4歳児保護者	500人	229人	45.8%
小学校2年生保護者	576人	203人	35.2%
小学校5年生保護者	658人	192人	29.2%
中学校2年生保護者	668人	166人	24.9%
高校2年生保護者	557人	63人	11.3%

(4) 伊賀市子どもの読書活動に関するアンケート調査結果(児童生徒:抽出)

○あなたは、本を読むのが好きですか。(問1)

＜「好き」「どちらかという好き」と回答した割合＞

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	80.6%	79.2%	85.5%	82.3%
中学生	73.0%	70.0%	75.6%	67.4%
高校生	76.5%	61.9%	69.5%	64.9%

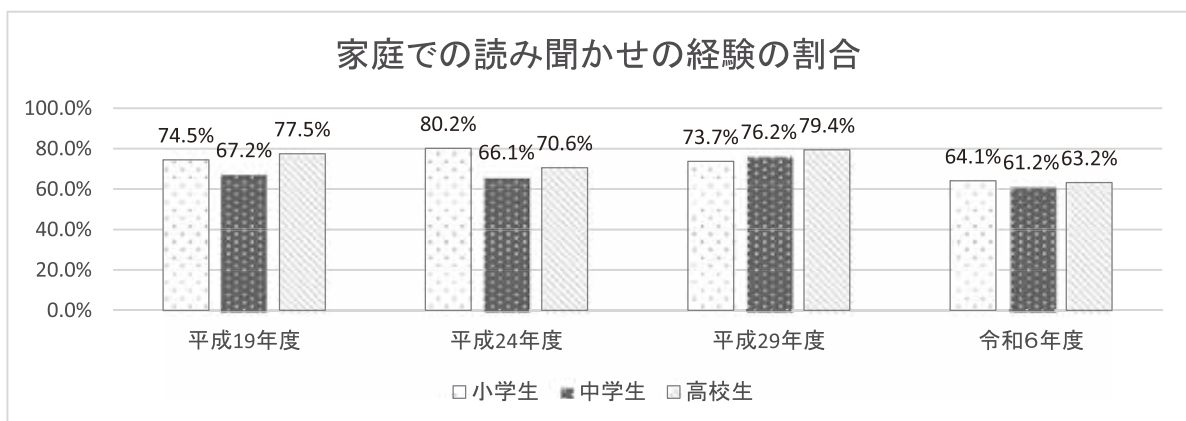


本を読むことについて、令和6年度調査では「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は、小学生は80%を超えていますが、中学生・高校生は60%代に留まっています。また、小・中・高校生とも、平成29年度調査より割合が下がっています。

○小さい頃、家で本を読んでもらっていましたか。(問2-2)

＜「はい」と回答した割合＞

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	74.5%	80.2%	73.7%	64.1%
中学生	67.2%	66.1%	76.2%	61.2%
高校生	77.5%	70.6%	79.4%	63.2%

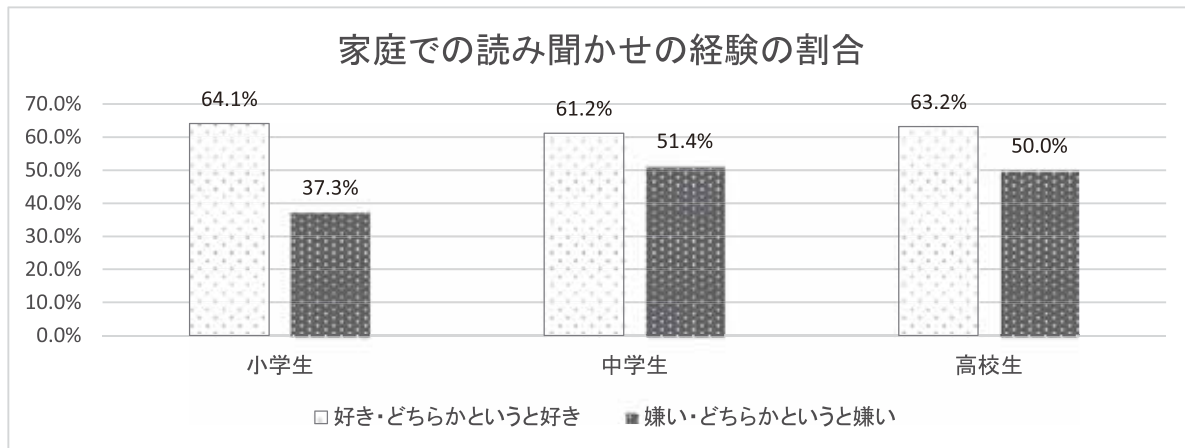


読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた児童生徒の家庭における読み聞かせの経験について、令和6年度調査の割合は平成29年度調査よりも大きく落ち込んでいます。

○小さい頃、家で本を読んでもらっていましたか。(問2-2、問3-2)

＜「はい」と回答した割合＞

区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	64.1%	37.3%
中学生	61.2%	51.4%
高校生	63.2%	50.0%

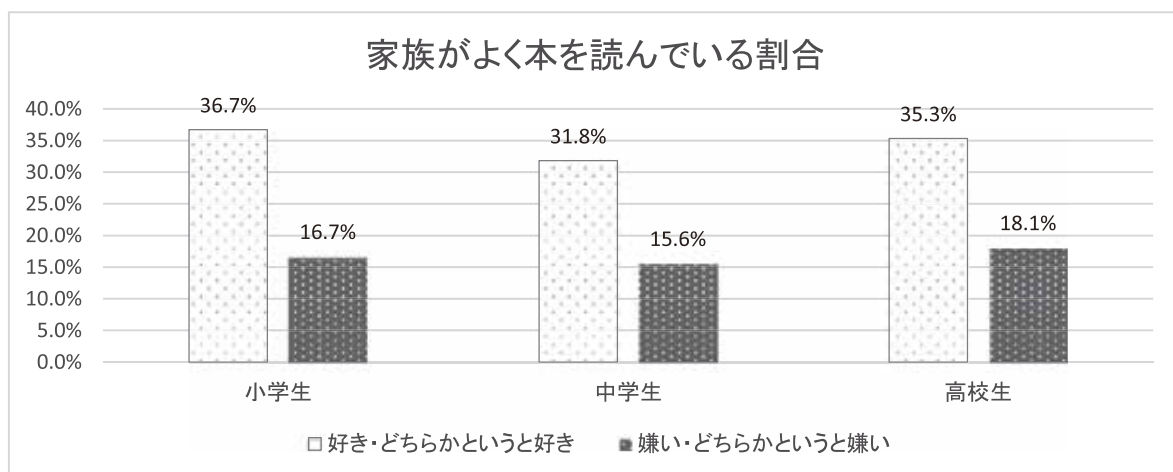


小さい頃の家庭における読み聞かせの経験について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を上回っています。読み聞かせの経験が、本人の読書に対する好感度につながっていると考えられます。

○家の方は、よく本を読んでいますか。(問2-3、問3-3)

＜「はい」と回答した割合＞

区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	36.7%	16.7%
中学生	31.8%	15.6%
高校生	35.3%	18.1%

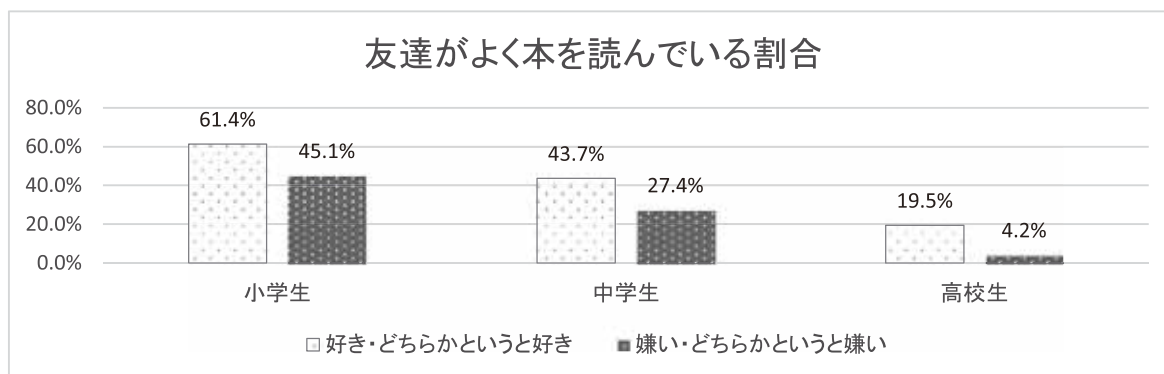


家族の読書の状況について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を大きく上回っています。家族の読書の状況が、本人の読書に対する好感度に大きく影響していると考えられます。

○友達は、よく本を読んでいますか。(問2-4、問3-4)

<「はい」と回答した割合>

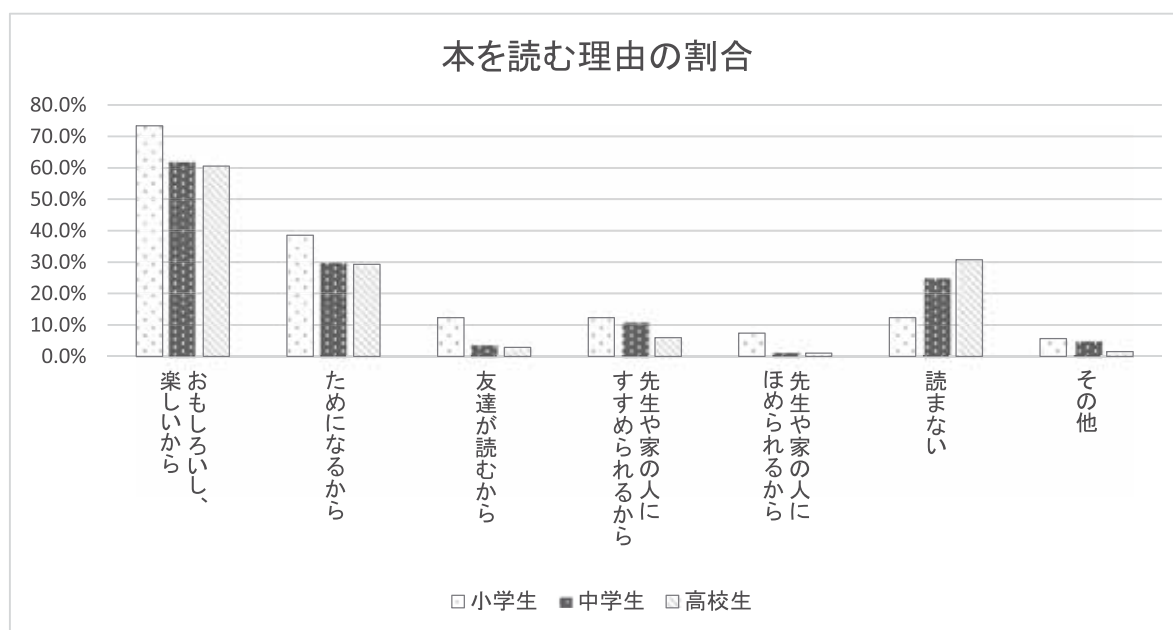
区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	61.4%	45.1%
中学生	43.7%	27.4%
高校生	19.5%	4.2%



友達の読書の状況について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を上回っています。友達の読書の状況が、本人の読書に対する好感度に影響していると考えられます。

○あなたが本を読むのはどうしてですか。(問5)

区分	小学生	中学生	高校生
おもしろいし、楽しいから	73.4%	62.2%	60.5%
ためになるから	38.5%	30.2%	29.3%
友達が読むから	12.3%	3.8%	2.9%
先生や家の人にすすめられるから	12.3%	11.1%	5.9%
先生や家の人にほめられるから	7.4%	1.5%	1.0%
読まない	12.3%	25.1%	30.7%
その他	5.7%	5.1%	1.5%

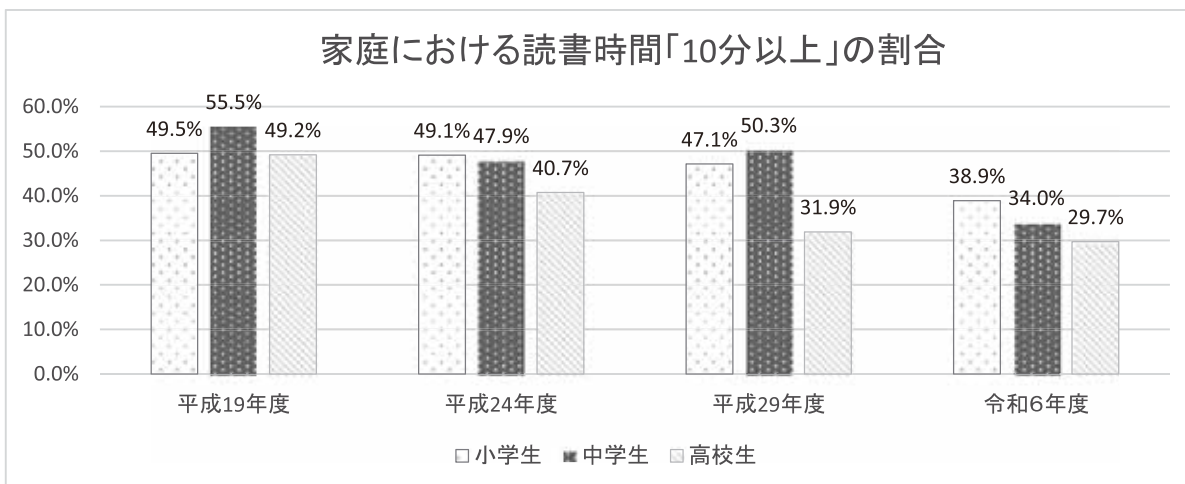


本を読む理由では、小・中・高校生とも「おもしろいし、楽しいから」の割合が一番高くなっています。読書による「おもしろい」「楽しい」経験が、読書習慣の形成につながる人が多いと考えます。

○あなたは、家で1日何分くらい本を読みますか。(問6)

<「10分から30分まで」「30分から60分まで」「60分以上」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	49.5%	49.1%	47.1%	38.9%
中学生	55.5%	47.9%	50.3%	34.0%
高校生	49.2%	40.7%	31.9%	29.7%

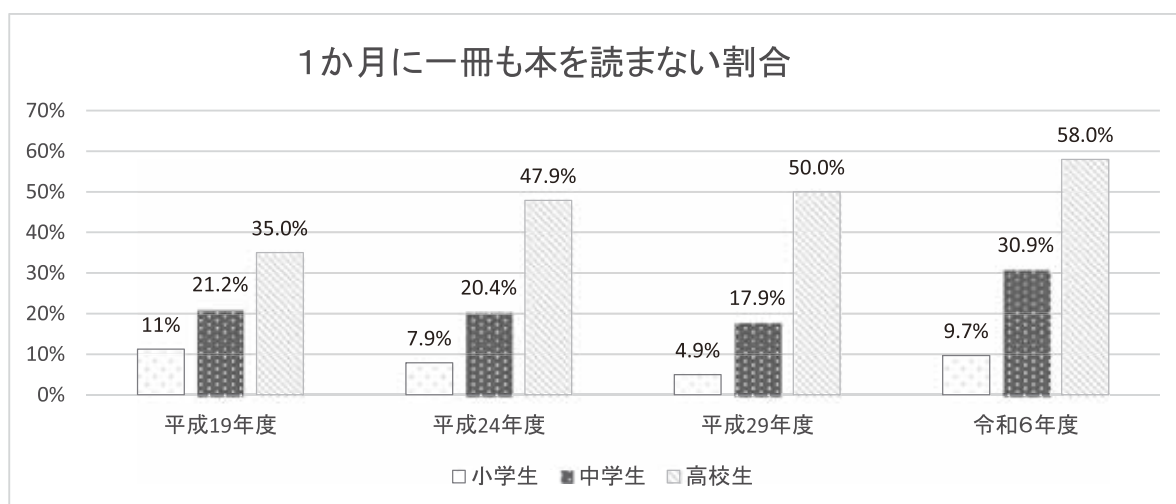


家庭で「10分以上」読書をした割合は、小・中学生は平成29年度より大きく落ち込んでいます。また、高校生は30%を切っており、小・中・高校生とも家庭において読書に親しむ時間が大変短いことが明らかです。

○あなたは、1か月で平均何冊の本を読みますか。(問7)

<0冊と回答した割合(不読率)>

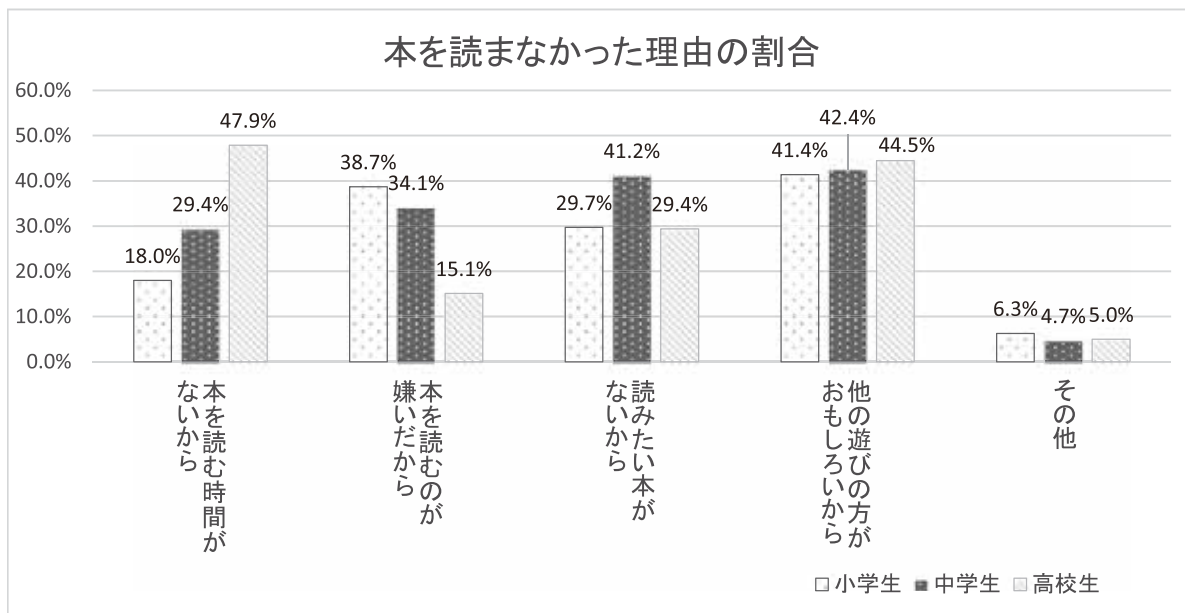
区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	11%	7.9%	4.9%	9.7%
中学生	21.2%	20.4%	17.9%	30.9%
高校生	35.0%	47.9%	50.0%	58.0%



小・中学生は平成29年度調査で不読率がやや改善されたものの、令和6年度に大幅に増えていきます。高校生は調査のたびに不読率が増え、令和6年度は58.0%と高い数値になり、読書離れの実態が顕著に表れています。

○本を読まなかったのはなぜですか。(問8)

区分	小学生	中学生	高校生
本を読む時間がないから	18.0%	29.4%	47.9%
本を読むのが嫌いだから	38.7%	34.1%	15.1%
読みたい本がないから	29.7%	41.2%	29.4%
他の遊びの方がおもしろいから	41.4%	42.4%	44.5%
その他	6.3%	4.7%	5.0%

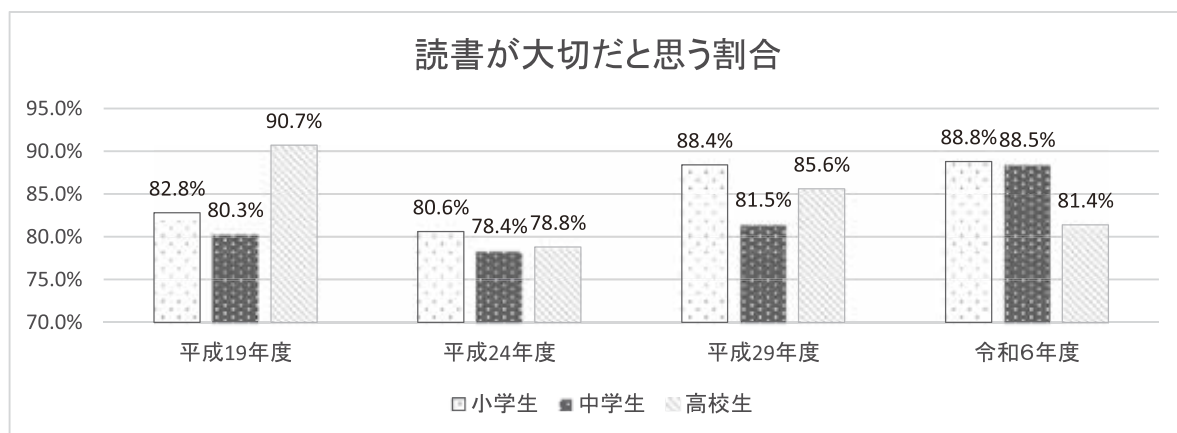


本を読まなかった理由では、小・中学生とも「他の遊びの方がおもしろいから」の割合が、高校生は「本を読む時間がないから」の割合が一番高くなっています。

○あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。(問10)

<「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	82.8%	80.6%	88.4%	88.8%
中学生	80.3%	78.4%	81.5%	88.5%
高校生	90.7%	78.8%	85.6%	81.4%

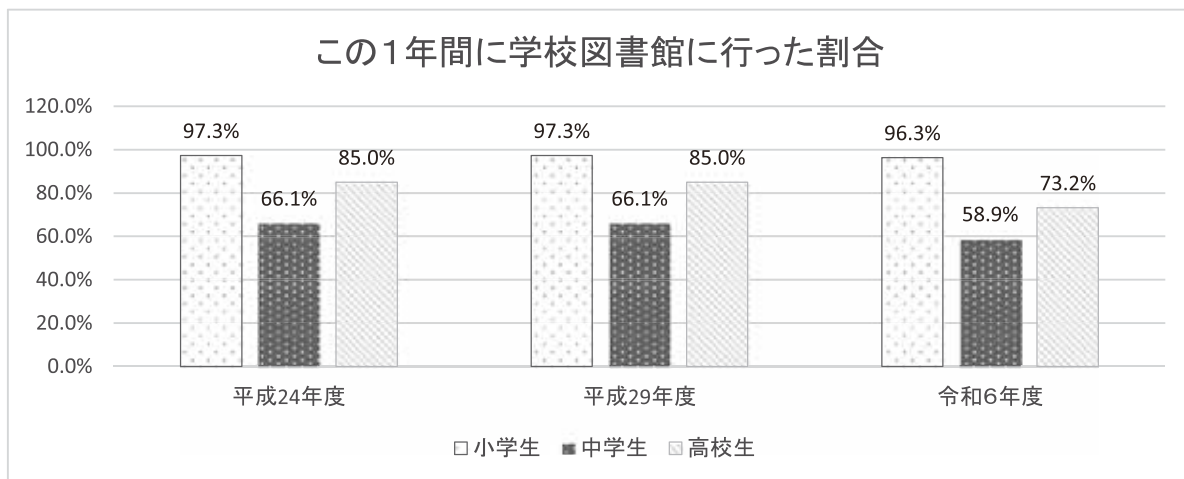


本を読むことについて、「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」を合わせた割合は小・中・高校生とも高い割合で推移していますが、実際の読書活動にはつながりきれていない実態があります。

○あなたは、この1年間に学校の図書館に行っただことがありますか(問12)

<「はい」と回答した割合>

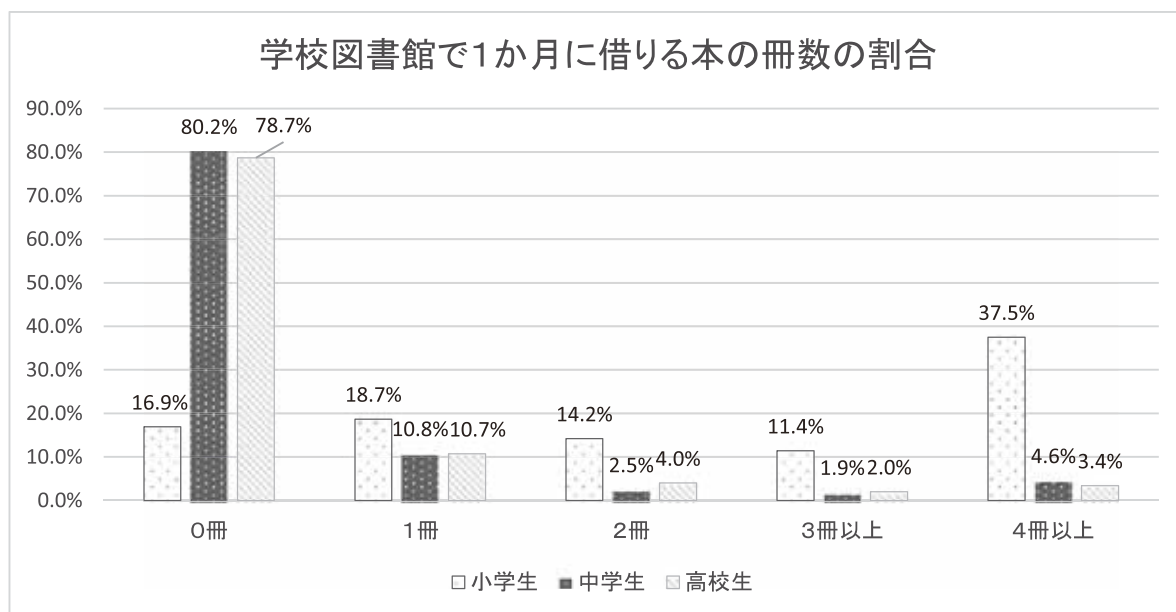
区分	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	97.3%	97.3%	96.3%
中学生	66.1%	66.1%	58.9%
高校生	85.0%	85.0%	73.2%



学校図書館の利用率をしてみると、小学生は高い割合で推移していますが、中学生の利用率が非常に低い状況です。高校生は令和6年度調査で、平成29年度調査から11.8ポイントも下がっています。

○1か月で、だいたい何冊の本を学校図書館で借りますか。(問13-2)

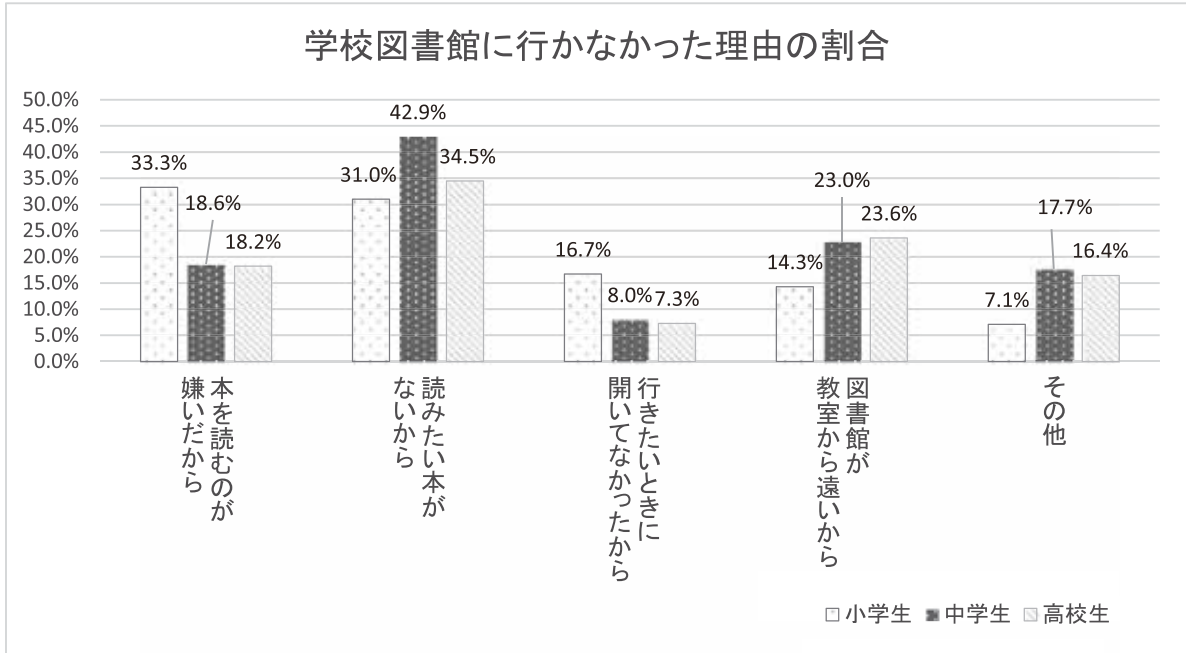
区分	0冊	1冊	2冊	3冊以上	4冊以上
小学生	16.9%	18.7%	14.2%	11.4%	37.5%
中学生	80.2%	10.8%	2.5%	1.9%	4.6%
高校生	78.7%	10.7%	4.0%	2.0%	3.4%



小学生については、1ヶ月に学校図書館で借りる本の冊数で、4冊以上の割合が一番高くなっています。中学生及び高校生では、全く借りない割合がほぼ80%と非常に高い数値になっています。

○学校の図書館に行かなかった理由は何ですか。(問14)

区分	小学生	中学生	高校生
本を読むのが嫌いだから	33.3%	18.6%	18.2%
読みたい本がないから	31.0%	42.9%	34.5%
行きたいときに開いてなかったから	16.7%	8.0%	7.3%
図書館が教室から遠いから	14.3%	23.0%	23.6%
その他	7.1%	17.7%	16.4%

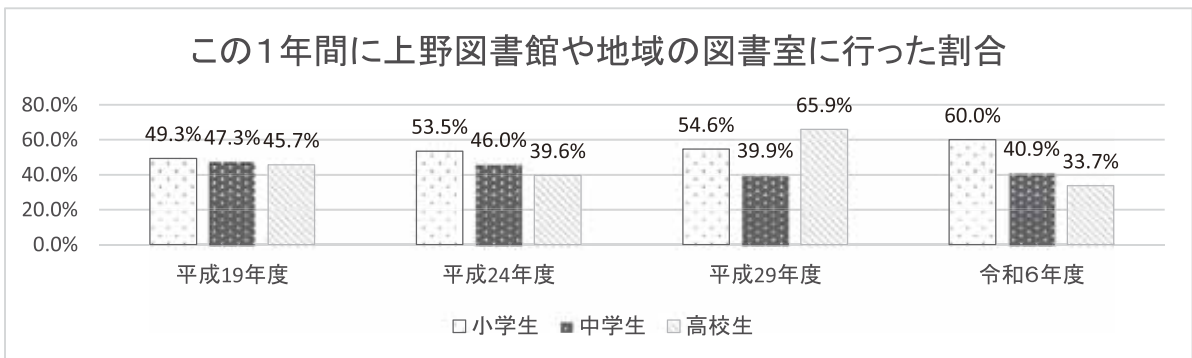


学校図書館に行かなかった理由をみると、中・高校生においては、「読みたい本がないから」の割合が一番高い数値になっています。生徒のニーズにあった書籍や、教科の内容に関連した書籍を購入するなど、工夫が求められます。

○あなたは、この1年間に上野図書館や地域の図書室に行ったことがありますか。(問15)

<「はい」と回答した割合>

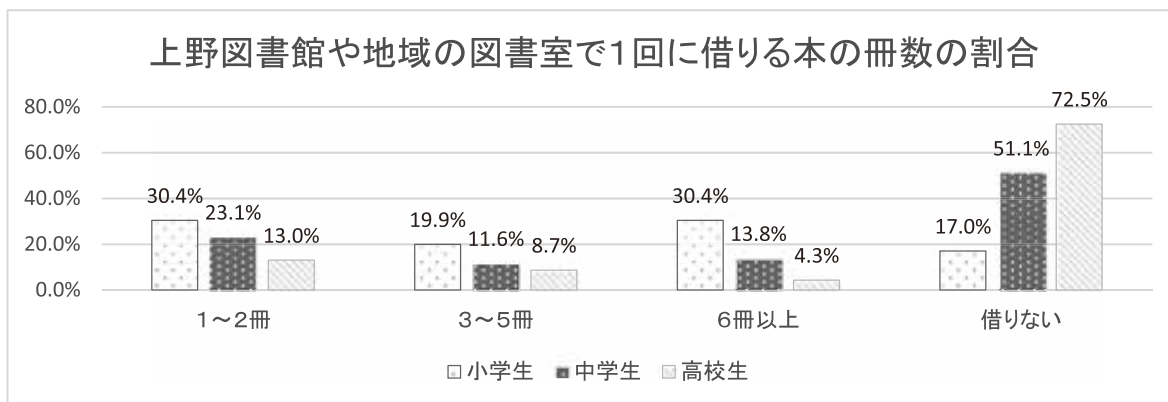
区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	49.3%	53.5%	54.6%	60.0%
中学生	47.3%	46.0%	39.9%	40.9%
高校生	45.7%	39.6%	65.9%	33.7%



上野図書館や地域の図書室に行った割合を令和6年度調査と平成29年度調査を比べると、小学生は5ポイント余り向上し、中学生はほぼ同じ、高校生は大きく落ち込んでいます。また、中・高校生の利用率が低いことも明らかです。

○上野図書館や地域の図書室では、1回に平均して何冊の本を借りますか。(問16—2)

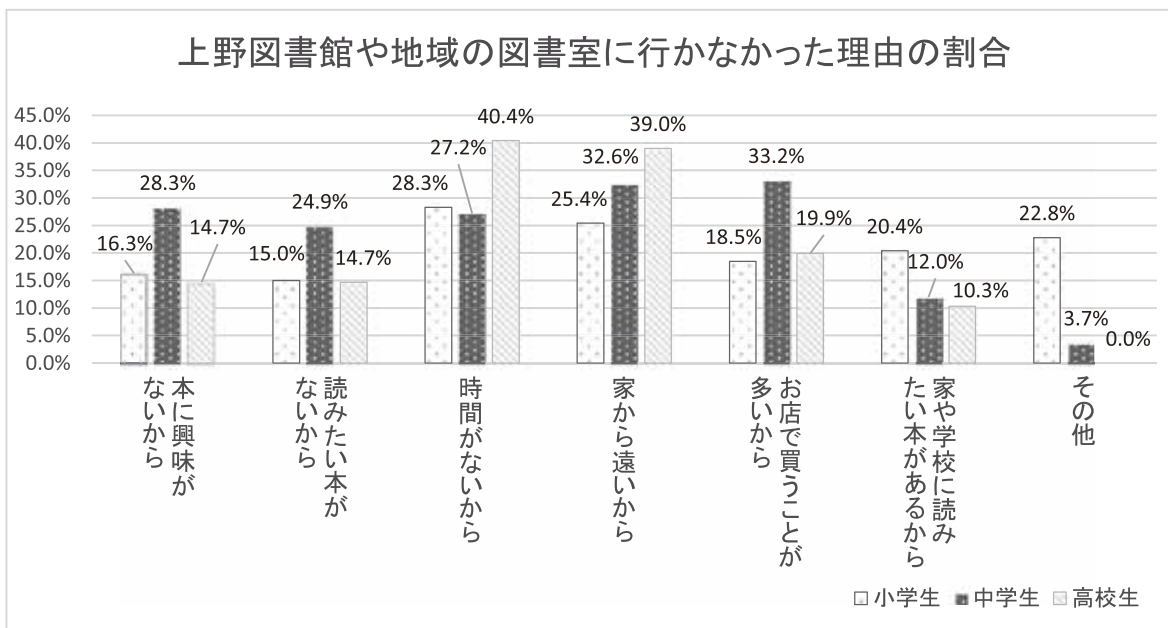
区分	1～2冊	3～5冊	6冊以上	借りない
小学生	30.4%	19.9%	30.4%	17.0%
中学生	23.1%	11.6%	13.8%	51.1%
高校生	13.0%	8.7%	4.3%	72.5%



小学生は、上野図書館や地域の図書室で1回に「6冊以上」本を借りる割合が30.4%と高い数値になっています。中・高校生は「借りない」割合が突出しており、中学生で50.1%、高校生では72.5%と高い数値になっています。

○上野図書館や地域の図書館に行かなかったのはどうしてですか。(問17)

区分	小学生	中学生	高校生
本に興味がないから	16.3%	28.3%	14.7%
読みたい本がないから	15.0%	24.9%	14.7%
時間がないから	28.3%	27.2%	40.4%
家から遠いから	25.4%	32.6%	39.0%
お店で買うことが多いから	18.5%	33.2%	19.9%
家や学校に読みたい本があるから	20.4%	12.0%	10.3%
その他	22.8%	3.7%	0.0%



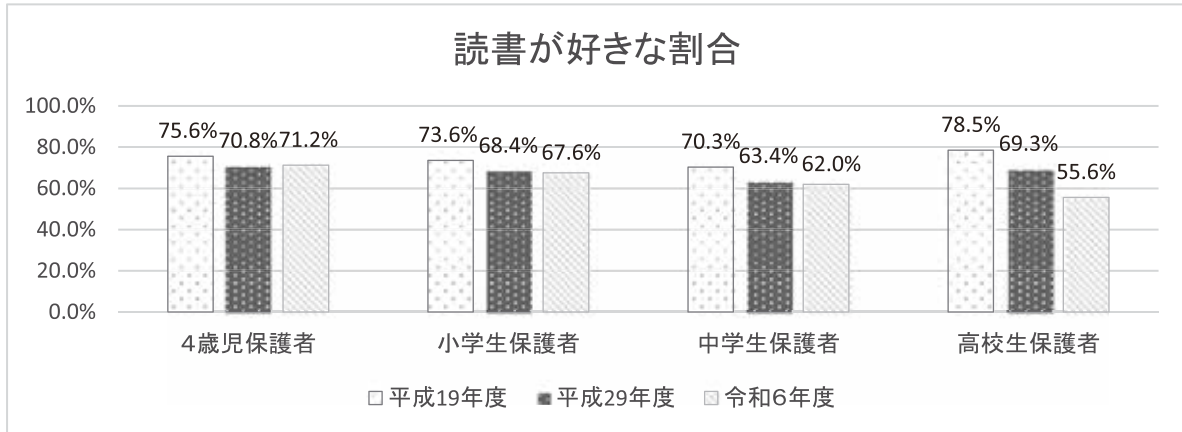
上野図書館や地域の図書室に行かなかった理由をみると、小学生と高校生は「時間がないから」、中学生は「お店で買うことが多いから」が一番高い割合になっています。また、小・中・高校生とも「家から遠いから」が二番目に高い割合になっています。

(5) 伊賀市子どもの読書活動に関するアンケート調査結果(保護者:抽出)

○あなたは本を読むのが好きですか。(問2)

<「好き」「どちらかという好き」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成29年度	令和6年度
4歳児保護者	75.6%	70.8%	71.2%
小学生保護者	73.6%	68.4%	67.6%
中学生保護者	70.3%	63.4%	62.0%
高校生保護者	78.5%	69.3%	55.6%

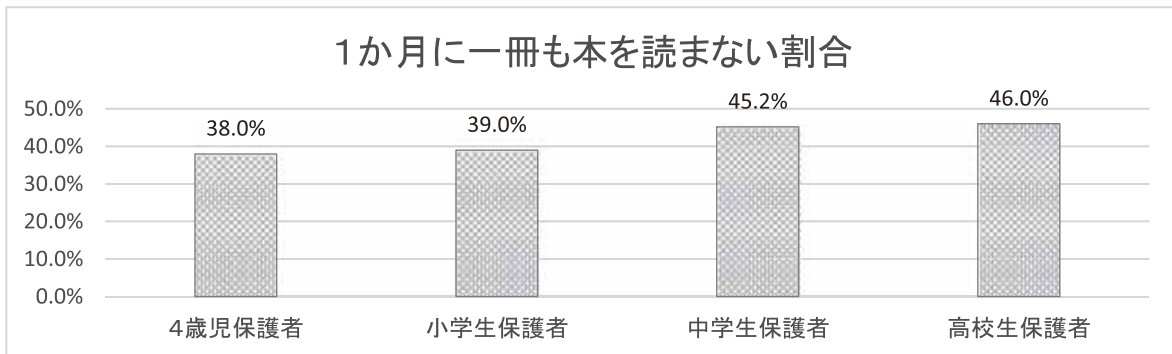


本を読むことについて、令和6年度調査で「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は、4歳児保護者は平成29年度調査より0.4%上がっていますが、小学生・中学生・高校生の保護者の割合は、平成29年度を下回っています。

○あなたは、1か月にだいたい何冊の本を読みますか。(問3)

<0冊と回答した割合(不読率)>

区分	令和6年度
4歳児保護者	38.0%
小学生保護者	39.0%
中学生保護者	45.2%
高校生保護者	46.0%

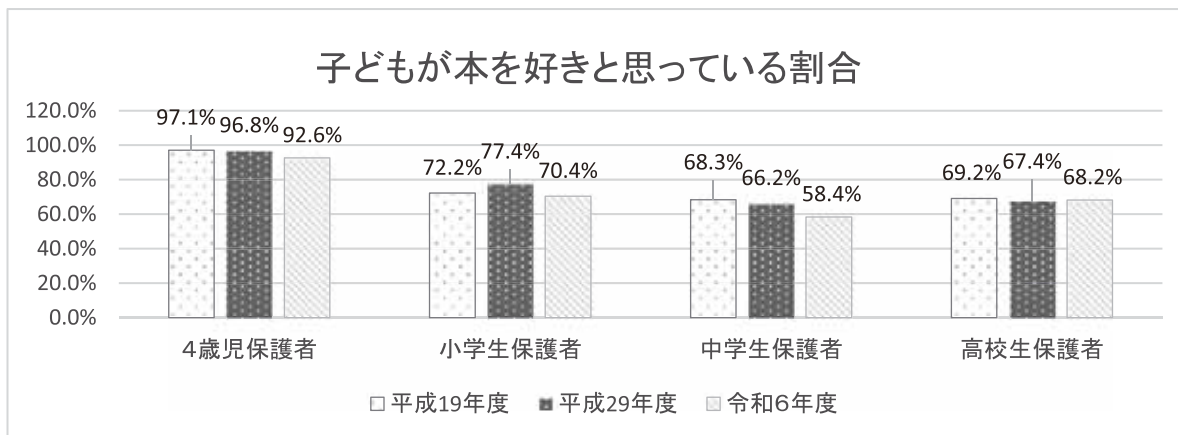


1か月に一冊も本を読まない割合は、子どもの年代が上がるほど高く、中学生・高校生の保護者では50%近い数値になっています。保護者(大人)の読書離れが進んでいることが分かります。

○あなたのお子さんは、本を読むのが好きだと思いますか。(問4)

＜「好き」「どちらかという好き」と回答した割合＞

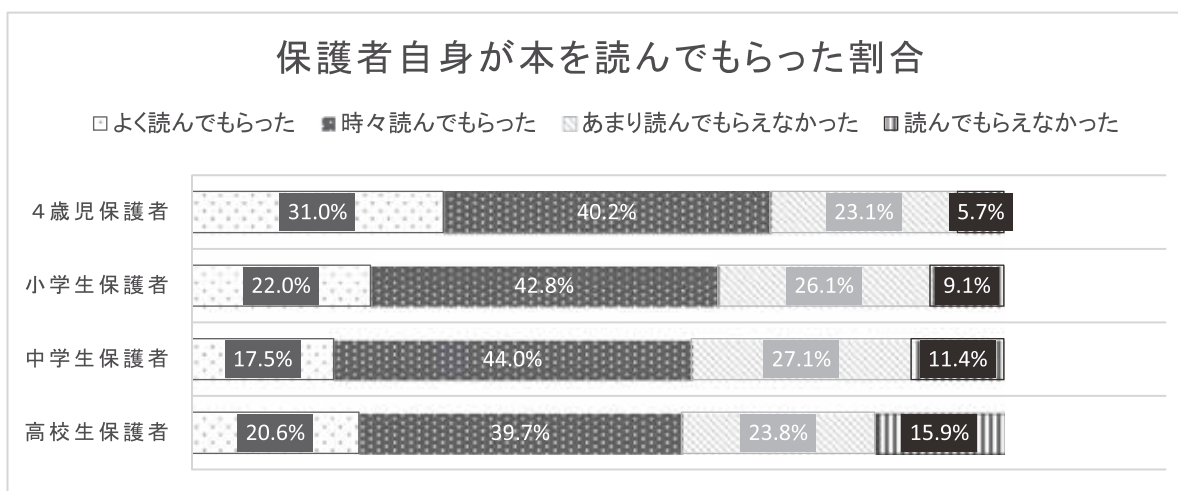
区分	平成19年度	平成29年度	令和6年度
4歳児保護者	97.1%	96.8%	92.6%
小学生保護者	72.2%	77.4%	70.4%
中学生保護者	68.3%	66.2%	58.4%
高校生保護者	69.2%	67.4%	68.2%



4歳児保護者は、年度を追うごとに若干下がっているものの、「好き」「どちらかという好き」の割合は90%を超えています。小学生・中学生の保護者では、令和6年度調査の割合が平成29年度調査に比べて大きく落ち込んでいます。

○あなたは子どもの頃、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか。(問5)

区分	よく読んでもらった	時々読んでもらった	あまり読んでもらえなかった	読んでもらえなかった
4歳児保護者	31.0%	40.2%	23.1%	5.7%
小学生保護者	22.0%	42.8%	26.1%	9.1%
中学生保護者	17.5%	44.0%	27.1%	11.4%
高校生保護者	20.6%	39.7%	23.8%	15.9%

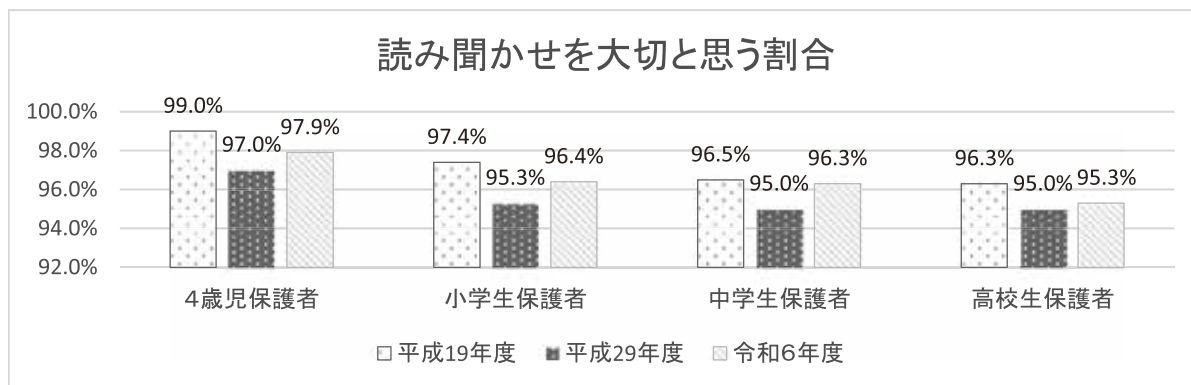


保護者自身が本を読んでもらった割合について、「よく読んでもらった」「時々読んでもらった」を合わせると、4歳児保護者が71.8%で、一番高い数値になっています。また、保護者の年代が上がるほど、「読んでもらえなかった」数値が高くなっています。

○お子さんに読み聞かせをすることは大切だと思いますか。(問6)

＜「非常に大切」「大切」と回答した割合＞

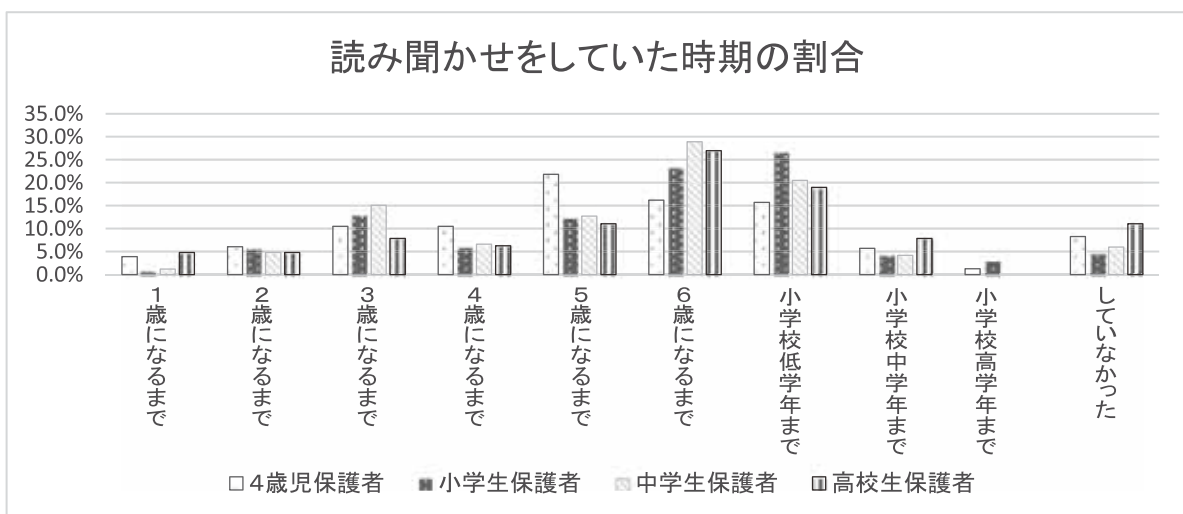
区分	平成19年度	平成29年度	令和6年度
4歳児保護者	99.0%	97.0%	97.9%
小学生保護者	97.4%	95.3%	96.4%
中学生保護者	96.5%	95.0%	96.3%
高校生保護者	96.3%	95.0%	95.3%



3回の調査すべてにおいて、子どものどの年代の保護者も、読み聞かせは「非常に大切」「大切」と答えた割合が90%を超えています。

○あなたのご家庭では、どのくらいの時期までお子さんに読み聞かせをしていましたか。(問7)

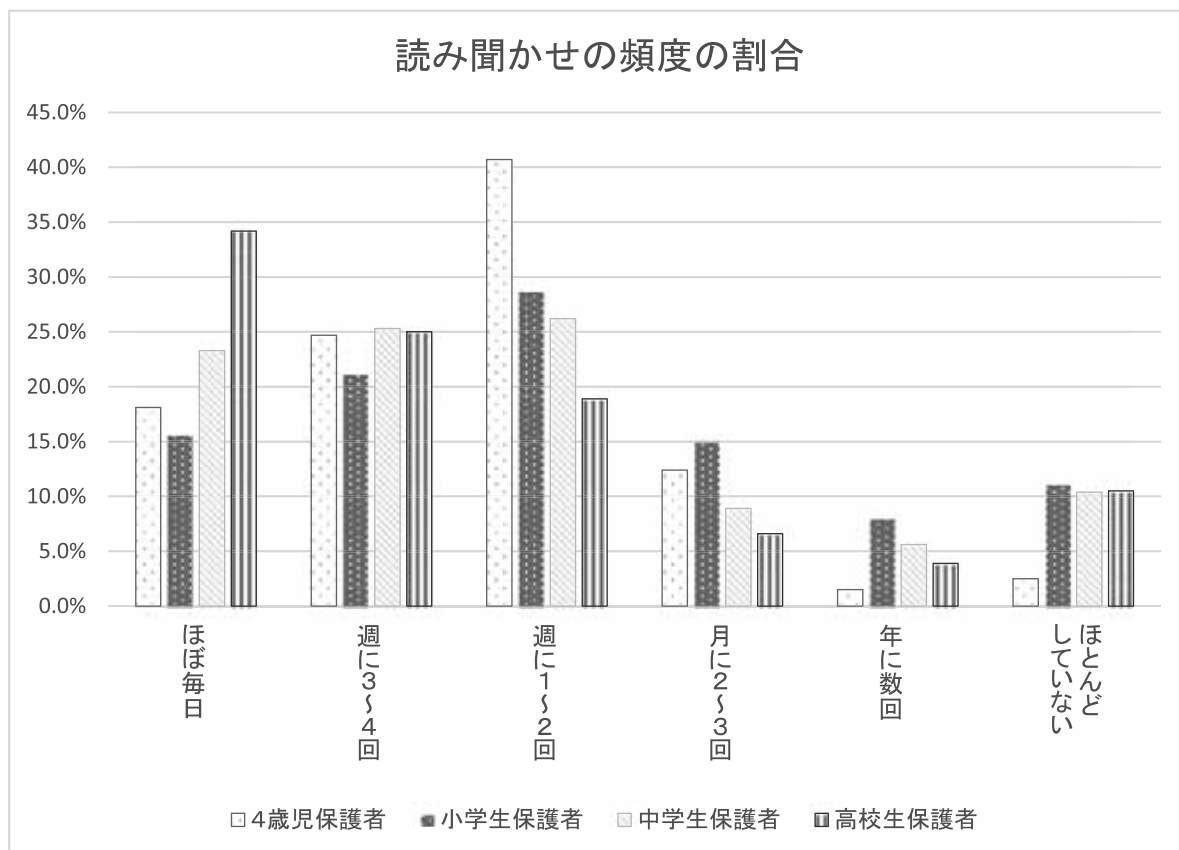
区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
1歳になるまで	3.9%	1.0%	1.2%	4.8%
2歳になるまで	6.1%	5.8%	4.8%	4.8%
3歳になるまで	10.5%	12.9%	15.1%	7.9%
4歳になるまで	10.5%	6.1%	6.6%	6.3%
5歳になるまで	21.8%	12.4%	12.7%	11.1%
6歳になるまで	16.2%	23.3%	28.9%	27.0%
小学校低学年まで	15.7%	26.6%	20.5%	19.0%
小学校中学年まで	5.7%	4.3%	4.2%	7.9%
小学校高学年まで	1.3%	3.0%	0.0%	0.0%
してなかった	8.3%	4.6%	6.0%	11.1%



読み聞かせをしていた時期は、全体的に「6歳になるまで」「小学校低学年まで」の割合が高くなっています。なかには、小学校高学年まで読み聞かせをしている家庭もあります。

○ご家庭では、どのくらいの頻度で読み聞かせをしていますか(いましたか)。(問8-2)

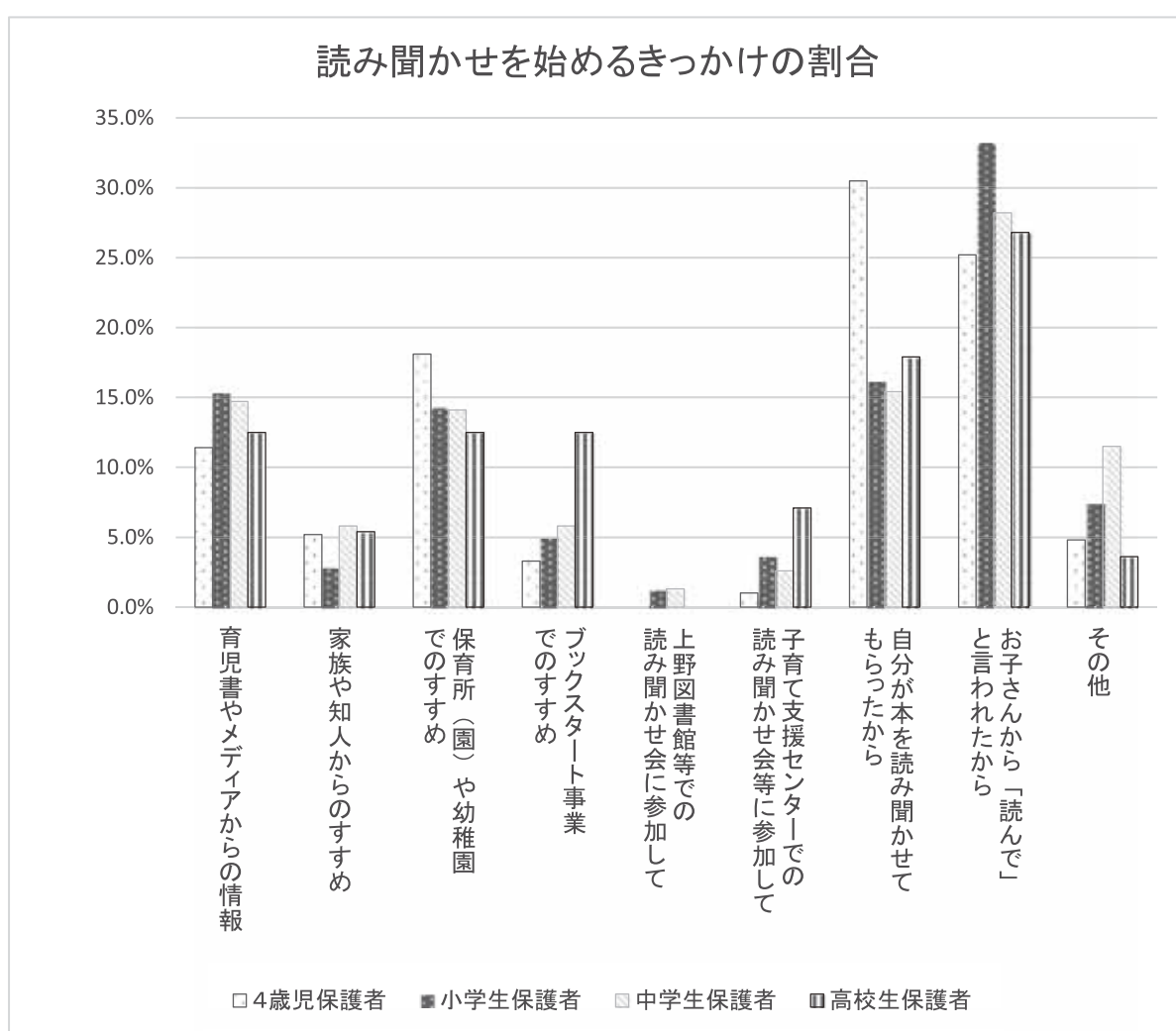
区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
ほぼ毎日	18.1%	15.7%	23.3%	34.2%
週に3~4回	24.7%	21.2%	25.3%	25.0%
週に1~2回	40.7%	28.7%	26.2%	18.9%
月に2~3回	12.4%	15.1%	8.9%	6.6%
年に数回	1.5%	8.1%	5.6%	3.9%
ほとんどしていない	2.5%	11.2%	10.4%	10.5%



読み聞かせの頻度について、4歳児保護者は「週に1~2回」が40%を超えています。小学生・中学生保護者も「週に1~2回」が一番高い数値になっています。高校生保護者は、「ほぼ毎日」が一番高くなっています。

○読み聞かせを始めるきっかけは何でしたか。(問8-3)

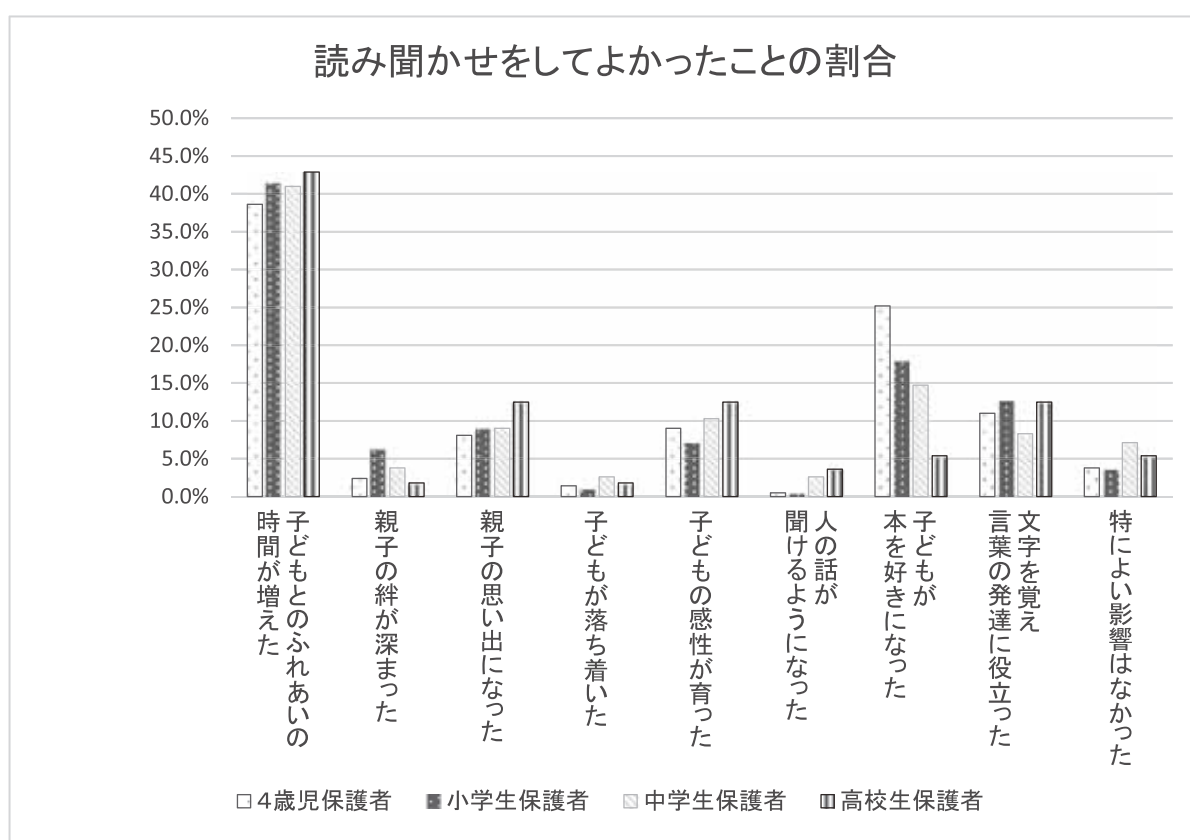
区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
育児書やメディアからの情報	11.4%	15.4%	14.7%	12.5%
家族や知人からのすすめ	5.2%	2.9%	5.8%	5.4%
保育所(園)や幼稚園でのすすめ	18.1%	14.3%	14.1%	12.5%
ブックスタート事業でのすすめ	3.3%	5.0%	5.8%	12.5%
上野図書館等での読み聞かせ会に参加して	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%
子育て支援センターでの読み聞かせ会等に参加して	1.0%	3.7%	2.6%	7.1%
自分が本を読み聞かせてもらったから	30.5%	16.2%	15.4%	17.9%
お子さんから「読んで」と言われたから	25.2%	33.2%	28.2%	26.8%
その他	4.8%	7.4%	11.5%	3.6%



読み聞かせを始めるきっかけは、全体的に「お子さんから『読んで』と言われたから」の割合が高くなっています。4歳児保護者をみると、「自分が本を読み聞かせてもらった」経験が、子どもの読み聞かせにつながっていることが分かります。

○読み聞かせをしてよかったことは何ですか。(問8-4)

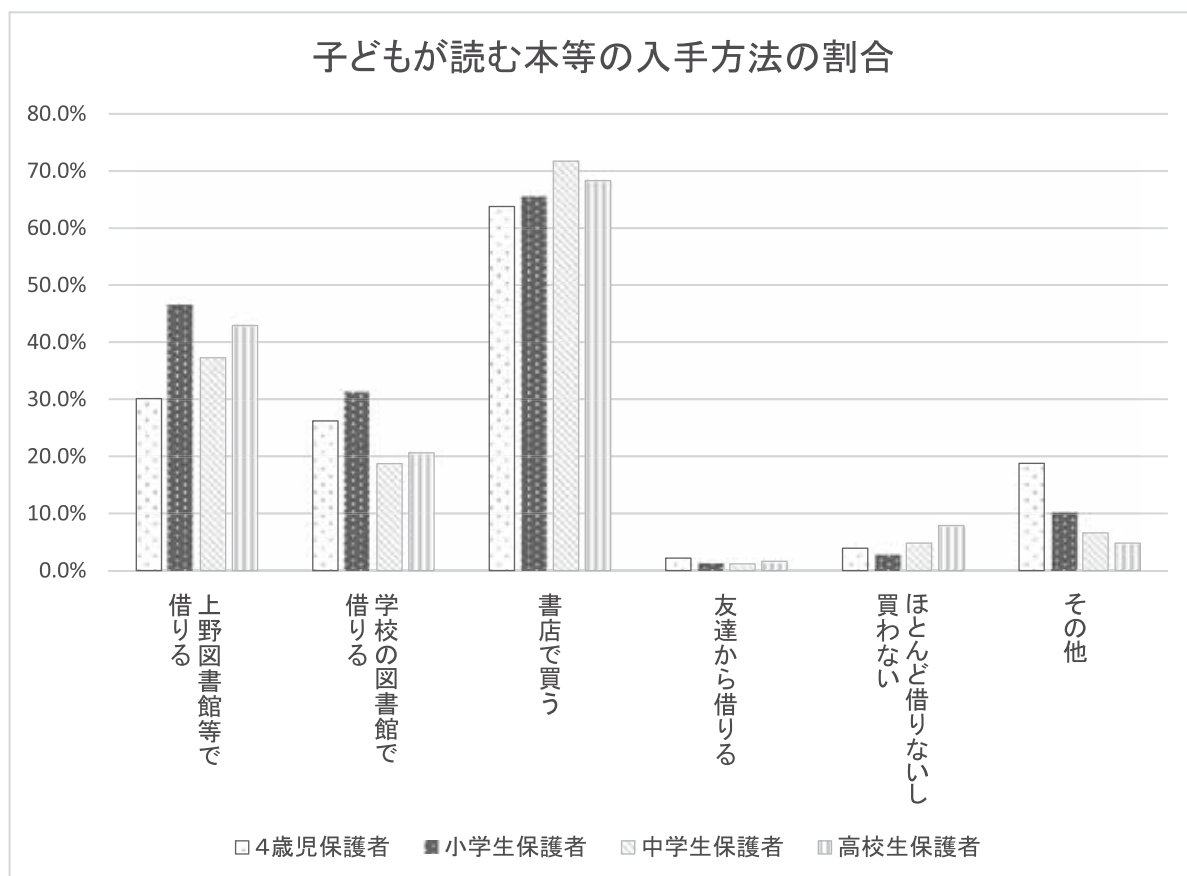
区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
子どもとのふれあいの時間が増えた	38.6%	41.4%	41.0%	42.9%
親子の絆が深まった	2.4%	6.4%	3.8%	1.8%
親子の思い出になった	8.1%	9.0%	9.0%	12.5%
子どもが落ち着いた	1.4%	1.1%	2.6%	1.8%
子どもの感性が育った	9.0%	7.2%	10.3%	12.5%
人の話が聞けるようになった	0.5%	0.5%	2.6%	3.6%
子どもが本を好きになった	25.2%	18.0%	14.7%	5.4%
文字を覚え言葉の発達に役立った	11.0%	12.7%	8.3%	12.5%
特によい影響はなかった	3.8%	3.7%	7.1%	5.4%



読み聞かせをしてよかったことは、どの年代の保護者においても「子どもとのふれあいの時間が増えた」が突出しています。また、子どもの年代が低い保護者ほど、「子どもが本を好きになった」と答えた割合が高くなっています。

○お子さんが読む本や読み聞かせの本は、どのようにして入手していますか。(問9)

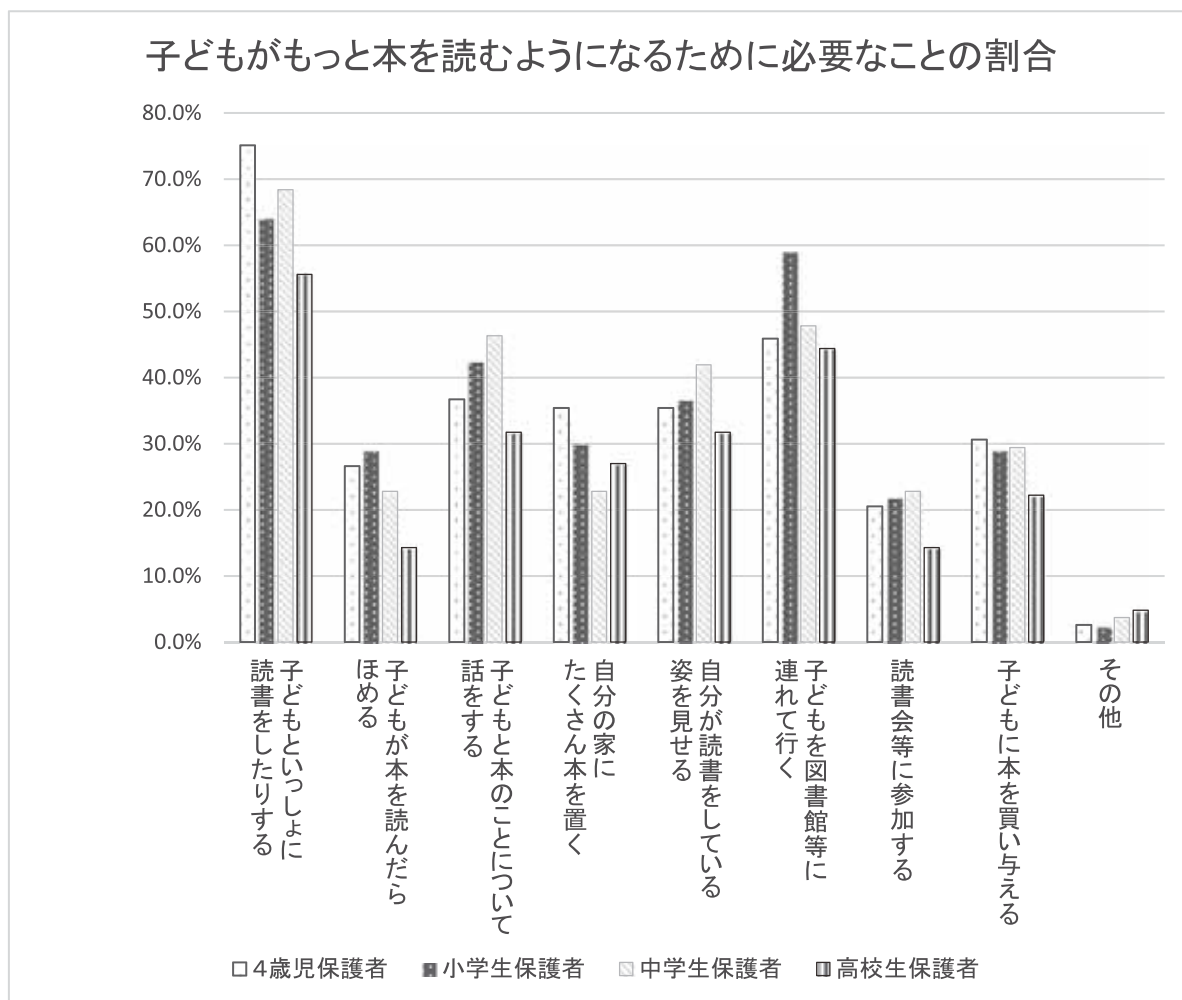
区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
上野図書館等で借りる	30.1%	46.6%	37.3%	42.9%
学校の図書館で借りる	26.2%	31.4%	18.7%	20.6%
書店で買う	63.8%	65.6%	71.7%	68.3%
友達から借りる	2.2%	1.5%	1.2%	1.6%
ほとんど借りないし買わない	3.9%	3.0%	4.8%	7.9%
その他	18.8%	10.4%	6.6%	4.8%



子どもが読む本や読み聞かせの本の入手方法は、どの年代の保護者においても「書店で買う」割合が一番高く、次いで「上野図書館や地域の図書室で借りる」となっています。

○あなたは、お子さんがもっとたくさん本を読むようになるために必要なことはなんだと思いますか。(問12)

区分	4歳児保護者	小学生保護者	中学生保護者	高校生保護者
子どもといっしょに読書をしたりする	75.1%	64.1%	68.4%	55.6%
子どもが本を読んだらほめる	26.6%	29.1%	22.8%	14.3%
子どもと本のことについて話をする	36.7%	42.5%	46.3%	31.7%
自分の家にたくさん本を置く	35.4%	30.1%	22.8%	27.0%
自分が読書をしている姿を見せる	35.4%	36.7%	41.9%	31.7%
子どもを図書館等に連れて行く	45.9%	59.0%	47.8%	44.4%
読書会等に参加する	20.5%	22.0%	22.8%	14.3%
子どもに本を買い与える	30.6%	29.1%	29.4%	22.2%
その他	2.6%	2.5%	3.7%	4.8%



子どもがもっと本を読むようになるために必要なことは、どの年代の保護者においても「子どもといっしょに読書をしたり、読み聞かせをしたりする」の割合が一番高くなっています。家庭読書(家読)の大切さを認識していることが分かります。

(6) 『第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）』に対する パブリックコメント実施結果の概要

第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）に関するパブリックコメントを実施しました。

1 募集期間

2025（令和7）年9月1日（月）から9月30日（火）まで

2 募集方法

市ホームページに実施概要を掲載するとともに、市内公共施設（伊賀市役所本庁・各支所、ハイトピア伊賀、各地区市民センター）に「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）」及び意見提出用紙を設置し、オンライン、電子メール、持参、郵送、FAXによる意見提出を求めました。

3 募集結果

(1) 意見提出者 15名

提出方法	提出件数
オンライン	13件
電子メール	0件
持参	2件
郵送	0件
FAX	0件

(2) 意見総数 48件

参考資料

好きな本に出あう 新しい世界に出あう

～子どもの未来を創る 読書の力～



伊賀市教育委員会

伊賀市では、学校や家庭での読書推進活動として小学校低学年までは、保護者と一緒に本を読むきっかけをつくってもらう「この本いっしょに読もう!」運動を、中学年から中学校にかけては、自ら本の世界を楽しむことをすすめる「この本おもしろいよ!」運動を進めています。



学校で

こども新聞

気になる記事や面白い記事を1枚にまとめて掲示する「切り抜き新聞」や、みんなに紹介する「まわしよみ新聞」など新聞に親しみ、じっくり読む取組です。

ビブリオバトル

「書評合戦」ともいいます。面白いと思った本を紹介しあい、「どの本が一番読みたくなったか」を多数決で選ぶ活動です。

朝の読書など

他にもいろいろ…

- ・読み聞かせボランティアによるブックトーク
- ・全校読書週間
- ・保育所(園)・幼稚園への読み聞かせ など

味見読書

「あじみどくしょ」と読みます。味見をするように様々なジャンルの本を3分間ずつどんどん読んでいき、自分の好きな本に出会う取組です。

好きな本を、好きな時間!

言葉を学ぶ

子どもたちに必
とによって、「生
あい、その世界
までも心に残り

人生をより豊かに、深く生きる力になるよ。

お家で

家読

家族や身近な人と本を読んで感想を話しあったり、好きな本をすすめあったりする取組です。「家読(うちどく)の日」を決め、家族みんなで本の世界を楽しむ時間をつくることもおすすめです。

読み聞かせ

好きな本を、好きなように、声に出して読み聞かせることで、言葉や表現、物語そのものをいっしょに楽しむことができます。



地域で

おはなし会

絵本や紙芝居などの読み聞かせをしています。子どもから大人まで一緒に物語の世界を楽しむことができます。

図書館

様々な本に出あえる場所です。何を读もうか、悩んだ時には相談にものってくれます。

書店

お気に入りの本に出あえたら、ぜひ書店にも行ってみましょう。自分のお気に入りの本は一生の宝物になるでしょう。



こ、好きな場所で

本を読むとどんな力がつくの？

想像力

思考力

感性を磨く

表現力

創造力を高める

必要なのは、「本を読む力」そのものではなく、「読む力」を育てるこ
生きる力」を身に付けることです。子どもの時に様々な本に出
を楽しんだ経験や喜びは、国語力を向上させるだけでなく、いつ
、生きる力として人生を豊かなものにします。



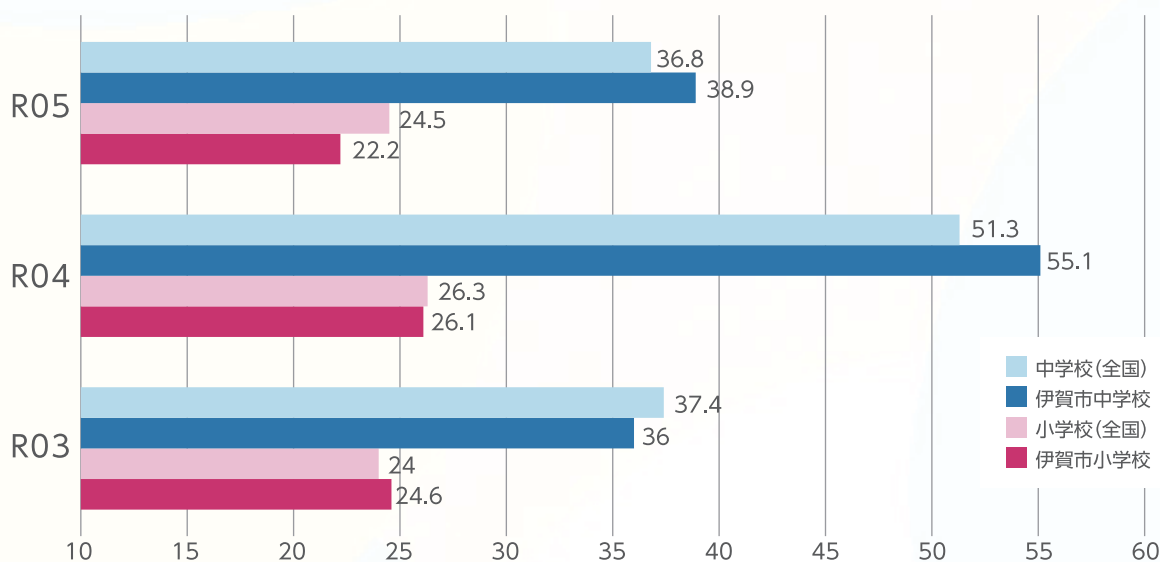
このリーフレットについて

このリーフレットは、読書の楽しさ、すばらしさを多くの人に知ってもらうために作りました。学校、家庭、地域で行われている読書活動について知ったり、読書の大切さについて考えるきっかけにしたりしてください。



伊賀市の子どもの読書に関するデータ

平日の読書時間が全くないという児童生徒の割合



全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙によると、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問について、「全くしない」と答えた伊賀市児童生徒の割合は、令和5年では小学校で22.2%、中学校では38.9%と高い値となっています。

国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」（令和3年8月）によると、子どもの頃の読書量が多い人は、非認知能力と認知能力が高い傾向があるという結果があります。非認知能力とは、数値で測ることのできない人間的な力であり、好奇心やあきらめずがんばる力、コミュニケーション能力、協調性や思いやりといった、人間形成にとって重要な力のことです。読書を通して、楽しみながら非認知能力を育むことができます。

「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」※です。子どもたちが自主的に読書活動ができるよう、学校で、家庭で、地域で読書をしていきましょう。

※ 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条基本理念

第三次伊賀市子ども読書活動推進計画

2026（令和8）年3月

発行 伊賀市教育委員会

編集 伊賀市教育委員会事務局生涯学習課

〒518-0873 伊賀市上野丸之内500番地 ハイトピア伊賀5階

電話：0595-22-9679

FAX：0595-22-9692

E-mail：gakushuu@city.iga.lg.jp